

近畿地方

宣言タイプ	★★	2つ星の取り組みを通じて、 大手顧客からの信頼を獲得
業種	学術研究、専門・技術サービス業	
従業員規模	1～5名	
業務のIT依存度	4	

有限会社キートン

きっかけ

スマートSMEサポーター制度※の活用を通じて顧客の新規開拓に取り組んでいた際、自社が提供するITサービスの品質や実績だけでなく、セキュリティに対する姿勢も対外的にアピールしたいと考えた。

※スマートSMEサポーター制度：経済産業省が中小企業の生産性向上に資するITツールを提供するITベンダーなどを「情報処理支援機関」として認定する制度

効果

- SECURITY ACTION宣言を行い、ポリシーを外部公開したことで、顧客からのセキュリティに関する質問や説明責任を果たす必要性が発生し、社員個人のセキュリティに対する意識が向上した。
- 提供するサービスの品質や実績（攻め）、情報セキュリティ対策（守り）の双方をPRすることで、顧客からの信頼を得ることができ、受注に広がりが出ている。現在は、医療系・大学系、官公庁などの大手顧客が主要取引先となっている。



工夫

外部パートナーと仕事をする際には、「情報セキュリティ5か条」に挙げられている、アクセス制限の管理に留意している。基本的な対策ではあるが、情報漏えいを防止するためには非常に重要。

■ 企業紹介

WordPressをはじめとするCMSを使ったホームページ制作からPHPプログラミング、公開後の管理、メンテナンスまでのトータルサポートを実施。情報処理支援機関（スマートSMEサポーター）として認定されている。

経営者のコメント



■ 自らの経験を活かす

同業の技術者向けに情報発信を行っていたブログで、古い記事に侵入された形跡があった。おそらくブログ上のソフトウェアにセキュリティホールがあり、放置されていたためと思われる。このような経験をしてからは、セキュリティに関する意識というのは、これまで以上に高くなった。

■ ITベンダーだからこそ宣言を行うべき

- セキュリティ対策は、求められて実施するのではなく、顧客から任せてもらっている立場であるからこそ、期待を裏切らないために自らが率先して取り組むべきもの。
- 我々の業界でもセキュリティに対する意識は、まだまだ高いとは言えない実感があり、クライアントにも、もっと意識を高く持っていただきたいという思いから、自らも率先してセキュリティに取り組む姿勢をPRすべきと考えた。

対策のポイント

チェック

セキュリティポリシーを策定するため、他社のポリシーを確認したり、必要な情報収集を行ったが、その一連のプロセスが非常に勉強になった。

宣言

宣言を行うことを社員へ周知徹底。セキュリティの重要性の再確認と、顧客への説明責任を果たすよう意識の向上を図った。

宣言後

自社の業務に則した秘密保持契約や、社内ルールの規定化を検討し、より強固なセキュリティ管理体制を推進する。